



園だより

文京区立第一幼稚園
令和3年度12月号

URL <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/dai1-kg/>

目的をもち、イメージを出し合って遊ぶ中で

園長 田村 秀子

土の庭のアカメガシワの葉が黄色く色付き、下から見上げると秋の日差しを受けて輝いています。隣のお宅のカエデの枝も赤く色付き、「あっ、あそこ、きれい」と気付いた子が声をあげています。紅葉の進み具合と光の加減で日々、変化していく晩秋の園庭で、子供たちは自然の変化や美しさに気づき、心を動かしています。

さて、年長組の「みんなのうきうきゆうえんち」づくりでは、年長組が学年で目的をもち、イメージを出し合って取り組み、園全体で交流して楽しみました。年長組は2学級の混合グループで取り組んだことで、今まで関わりの少なかった友達にも自分の考えを言葉で伝え、相手の話にも耳を傾け、協力して一緒に創り上げる体験をしました。グループごとに集まる時間を決め、その日の作業内容を話し合っ取り組めるよう、担任はホワイトボードにグループごとの時計をつけたり、「きょう、やること」を自分たちで書ける作業シートを用意したりして環境を整えました。子供たちは「明日はお客さんの椅子を作ろう」「何時に集まる?」「10時は?」「えー、もう少し遊んでからにしようよ」などと本音も出しながら時間や仕事内容を決め、見通しをもって取り組みました。

文字は書ける子が書いたり、先生が代筆したり、時には絵で描いたりしていましたが、「こうして書いておくと忘れないし、見て分かるね」という体験をし、文字や時計に親しみ、友達と声を掛け合い、自分たちの立てた計画をもとに仕事を進めていきました。

実際に遊んでみると、ジェットコースターの段差を何度も持ち上げるのが大変だったり、クレーンゲームの様子がお客さんから見えにくかったりなど困ったこともありますが、友達と課題を共通にしてアイデアを出し合い、時には先生も一緒に考えて工夫していました。ものの仕組みを考えて材料を選び、試行錯誤する姿も見られました。

招待状をもらった年少組、年中組は遊園地に行くのを楽しみに登園し、時間になるとチケットを持って「みんなのうきうきゆうえんち」に出かけました。お店の人に声をかけられたように並び、スタンプを押してもらって座り、根気強く順番を待ち、乗り物に乗せてもらったり、買い物や食事をしたり、映画館やお化け屋敷に入って大喜びでした。「どこから乗るんですか?」と聞いたり、「もう1回やりたい」と言ったりする子もいました。嬉しい体験の中で、よく話を聞いたり様子を見たりして動き方を理解し、分からない時は自分の言葉で聞く力も育ってきていると感じました。

先日、全国幼児教育研究協会主催の教育経営研修会の中で、文部科学省の大杉住子幼児教育課長が「これからの持続可能な社会の作り手を育成するために、その基礎として育てたいのは、多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性である」ということを話されていました。私はすぐ遊園地ごっこを進める子供たちの姿が思い浮かびました。自分たちで目的をもって遊びに取り組む中で、「いろいろな感じ方や考え方があがる」「互いに関わって遊ぶと楽しい」「大事なものを大切にしよう」「一人一人の思いを大切にしよう」「皆で力を合わせるとすごいことができる」「自分の仕事をしっかりやろう」など、子供たちの様々な気づきと行動が見られました。これからも一人一人が目的をもって遊びを楽しみ、関わりを広げ、学び合えるよう、園全体で環境を工夫し、支援していきたいと思ひます。

11月から12月にかけて、のびのびチャレンジデー再現の保育参観、落ち葉掃き、焼き芋会、音楽会と楽しい活動が続き、にぎやかな幼稚園です。温かいまなざしに見守られて、子供たちが大きく育った2学期でした。保護者・地域の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今月も健康に気を付けて過ごしていきましょ